

主体的・対話的で深い学びの実現 6則

埼玉の子供たちを「人財」として輝かせるために！

毎日の授業では、子供たちが「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力・人間性等」など、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、教員が変容(伸び)を見取ることが大切です。そのためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が有効です。…あなたの授業を見直してみませんか？



変容によって…

- ・ 機械的に記憶するよりも意義や意味を考えることで、より一層、知識や技能の定着を図ることができる。→知識・技能の習得
- ・ 自分で課題を見付け、自ら学び、考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力が向上する。→思考力・判断力・表現力等の育成
- ・ 主体性に加えて、チームワークや優しさなど、人間性が向上する。→学びに向かう力・人間性等の涵養

1. 【主体的・対話的で深い学びって何？】

- ・ 主体的な学び: 学習活動を見直し、振り返り、課題を解決していこうとすること
- ・ 対話的な学び: 学び合い等、他者と協働すること等によって、自己の考えを広げ深めること
- ・ 深い学び: 見方・考え方を働かせて、より深く理解したり考えを形成したりすること

2. 【何のために、主体的・対話的で深い学びの実現を？】

「何ができるようになるか」という子供たちに必要な資質・能力を育成するため。そのためには、「何を学ぶか」という学習内容と、「どのように学ぶか」という学びの過程を組み立てていく授業改善が重要である。

- ・ 目指すのは、「何ができるようになるか」(変容すること)である。
- ・ 一斉指導やグループ学習等の手法や技術等の改善、型の実践の必要性を考えるとどうではないか。
- ・ 子供たちに資質・能力を育成するために、学習内容(「何を学ぶか」)を明確にし、目の前にいる子供たちに、どんな学びの過程(「どのように学ぶか」)がふさわしいのかを見極めることが大切である。



第3章 資質・能力

3. 【「どのように学ぶか」をいま一度見直す】

子供たちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付けるために、特に、「どのように学ぶか」という学びの過程に着目して、授業の質を高めること。

- ・ 資質・能力の育成に向けて、子供たち一人一人の興味や関心、発達や学習の課題等を踏まえ、それぞれの個性に応じた学びを引き出していく上で、特に、**主体的・対話的で深い学び**の視点から踏まえた「**どのように学ぶか**」という**学びの過程**について着目し、授業の工夫・改善に取り組みすることが重要である。

4. 【変容を見取ること】

「何ができるようになるか」という視点で、教員は子供たちの**変容(伸び)を見取ること**。

- ・ 子供たち一人一人が資質・能力を身に付けて、**何ができるようになったか**という**変容(伸び)**を子供たち自らが実感し、教員もその**変容(伸び)**を見取れるようにすることが大切である。

5. 【信頼関係に基づき学級づくりを】

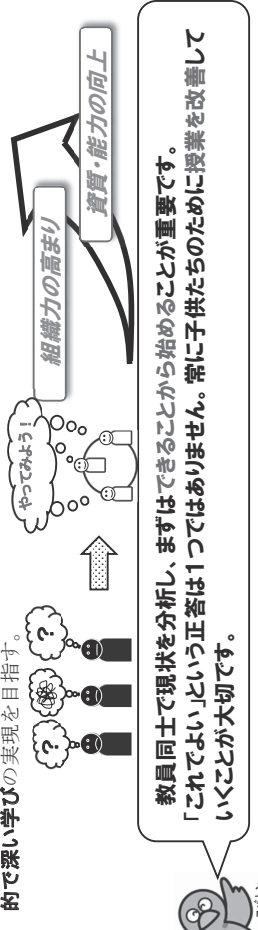
主体的・対話的で深い学びを目指した授業と、信頼関係に基づき学級づくりを「車の両輪」として進めていくこと。

- ・ 学級は、子供たちが日々の生活を共にする基礎的な集団であり、学習活動や学校生活の基盤となることから、担任をはじめとした全教員と子供たちの**信頼関係**及び子供たち相互の**好ましい人間関係づくり**が重要である。
- ・ 子供たち一人一人の発達を踏まえた上で、学級での人間関係を豊かにし、コミュニケーション能力を高めることで、各教科等の授業において**主体的・対話的で深い学びの実現**につながり、さらに**学級づくりが充実**する。

6. 【学び続ける教員集団であるために】

授業改善を目指して、教員同士で、深く考え、学びを通じて変容すること。

- ・ 教員が子供たちに求められる資質・能力を育むために、必要な学びの在り方を絶えず間なく考え、**教員同士で学び合う**ことことで、様々な観点から授業の工夫・改善について議論を重ね、**主体的・対話的で深い学びの実現**を目指す。



私の学校・学級では



こんな取組が効果的でした！

授業では

学習内容を明確にしました！

- 「今日は○○ができたら満点」のように、授業のゴールを示すようにしました。
- 本時の内容が、他の教科書ではどのような扱いになっているのかを見比べて教材研究をしました。

発言の取り上げ方を工夫しました！

- 挙手する児童の発言だけで授業を進めないようにしました。（児童の発言を聞く、繋ぐ、返す）
- 「なぜ？」という問い返しを何度も行いました。

学力層に応じた支援を心掛けました！

- 早く問題を解き終えた児童のために、ブラスタールファアのプリントを準備しました。
- 課題に取り組みめない児童のために、穴埋め式のワークシートやヒントカードを用意しました。

まとめ・振り返りを必ず行いました！

- 課題に正対したまとめを、児童と一緒に考えるようにしました。
- どの授業でも必ず、自分が学んだことを振り返る（見直す）時間を設定しました。

導入を工夫しました！

- 日常生活と関連付けるなど、解決の必要性を感じさせる課題を設定しました。
- 課題は児童とともに設定しました。
- 導入場面では、掲示物等を活用し、本時の学習内容に関する関係のある既習事項を復習しました。

学び合う場面を設定しました！

- 児童同士が自由に関わる時間を設定しました。
- 自分の考えだけでなく、ペアを組んだ相手の考えを説明する場面を設定しました。
- 教員が範を示しながら、児童同士が互いの発言に問い返しができるようにしました。

板書やノートを充実させました！

- 課題は青、まとめは赤で囲むなど、板書とノートの色使いを統一しました。
- 1時間の思考の流れが分かるような板書づくりを意識しました。
- 板書を写真に撮り、教員同士で共有しました。



保護者との連携を図りました！

- 家庭学習の目安の時間、内容などについて児童と保護者、学校で共通理解を図りました。
- 児童が保護者に説明をする課題を出したり、県学調復習シートの丸付けを保護者にお願ひしたりするなど、家庭の協力が必要な宿題も出しました。
- 家庭学習の参考になるよう、全国学調の問題を保護者にも解いてもらいました。

補充学習を充実させました！

- 朝学習では、発展的な問題や全国学調の問題を解かせ、解説を行いました。
- 昼休みにベースアスタタイムとして弱点を補充する時間を作りました。



学力調査問題を活用しました！

- 全国学調を全教員が解きました。
- 全国学調の問題を単元内に位置付けて、授業で扱うようにしました。
- 授業において、県学調復習シートの中から、本時の内容に合った問題を出題しました。

同じ指導ができるようにしました！

- 授業規律、授業の流れ（個人→グループ→学級全体→個人）を校内で統一しました。
- 授業参観時は、学校で統一した授業分析シートを使用し、授業参観の視点をそろえることで、授業研究を行いやすくしました。

学校全体では

情報の共有を図りました！

- 自分の作成した教材を、他の教員にも配布するなど教材を共有化することを心掛けました。
- 他クラスの児童も積極的にほめるようにするなど、他学級・他学年の様子にも目を配り、情報を共有するようでした。
- 保護者には、成長したことが、がんばったことなど、よいことを積極的に伝えるようにしました。

率先垂範を心掛けました！

- 校内でのルールを統一し、教員が率先して守りました。（時間、挨拶、大きな歌声等）
- 課題のある児童には、積極的な声掛けや日記の交換など、深く関わるようにしました。

指導形態を工夫しました！

- 教科担任制を実施しました。
- レディネスタストを実施し、自分自身の習熟度にあったコースを選ばせました。

学年・学級経営では

朝の会、帰りの会を充実させました！

- 朝の会で「今日のめあて」を提示し、帰りの会で「めあてに対する振り返り」を行いました。
- 連絡帳に、一行日記を書くようにしたところ、保護者からよい反響がたくさんありました。

教室環境を整えました！

- 学習したことや行事の様子等を掲示し、学級の思い出を共有しました。（行事の写真も掲示しました。）
- ユニバーサルデザインの見点から、教室前面の掲示を精査しました。

学級の雰囲気づくりを大切にしました！

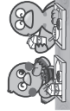
- よいことがあったときに、声を掛け合ったり、喜びを共有するポーズをとったりするようにしました。
- いじめゼロ宣言として、いじめに対する自分の決意を掲示しました。
- マラソンや長縄、外遊びなど、できる限り一緒に活動し、コミュニケーションをとりました。

一人一人に役割を持たせました！

- 学校行事で全員に役割を持たせる、話し合い活動の計画委員を一人一回行うなど、全員が他者の役に立つ場面を作りました。
- 活躍に対して、児童同士がMVPを指名したり、ほめほめカードで認め合ったり、担任・管理職からの表彰を行ったりすることで、自己肯定感を高めるようにしました。

道徳の授業を工夫しました！

- 心の変化が分かるような教具を作るなど、心の様子や変化を「見える化」するようにしました。
- 少人数での話し合いを意図的に取り入れ、自分の思いを表出できるようにしました。
- 授業中の児童の良かったところをまとめた「良いところ通知表」を作成し、記録を残すようにしました。



よみ取組を、みんなで共有しましょ！

※本資料は、実践事例を紹介したものです。各学校での取組の参考にしてください。



「授業力」自己診断シート」で授業力の向上



子供たちの学力向上に不可欠な教師の「授業力」の向上のためには、教師一人一人の授業の状況や在り方について把握し、課題を明らかにし、改善していくことが必要です。それでは、「授業力」をどのように把握すればよいのでしょうか。そこで、県立総合教育センターでは、「授業力」自己診断シート」を作成し、研修会等を通じて提供しています。

この「授業力」自己診断シート」は、一つの例であり、各学校、各教科等の実情に応じて適宜修正して活用いただくものです。普段の授業を振り返り、授業を改善するために御活用ください。ここでは、次の4つの要素に分けて解説しています。

- <要素 1> 学習環境を整える力及び学びに向かう学習集団を形成する力
- <要素 2> 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を構想する力
- <要素 3> 授業を実施する力
- <要素 4> 学習評価の充実

※なお、この図解は4要素を捉え直したものです。4つの要素は、お互いにリンクし合っています。



教師の「授業力」向上で学力向上を

教師は授業で勝負する

学力の向上には教師の「授業力」の向上が不可欠です。新たに告示された次期学習指導要領は、学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていききたい。

『文部科学省 新学習指導要領 改訂に込められた思い』
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm#section3

という思いを込めて改訂されました。児童生徒一人一人が、そのような資質・能力を身に付けられるように以下の点について言及しています。

今回の改訂においては、次項のとおり、言語能力、情報活用能力、問題発見・問題解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や、豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することにに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点に立って育成することを規定している。

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』平成29年7月 46頁

また、各教科等においても、当該教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿って再整理し、当該教科等の目標及び内容として明確にしている。

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』平成29年7月 46頁

とあります。

学習の基盤となる資質・能力

- ① 言語能力
- ② 情報活用能力
- ③ 問題発見・解決能力等

どのよう資質・能力の育成を目指すのか

- ① 知識及び技能が習得されるようにすること。
- ② 思考力、判断力、表現力等を育成すること。
- ③ 学びに向かう力、人間性を涵養すること。

…「社会に関わられた教育課程」の実現を目指し、学習指導要領が、学校、家庭、地域の関係者が幅広く共有し活用できる「学びの地図」としての役割を果たすことができるよう、次の6点にわたってその枠組みを改善するとともに、各学校において教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現を目指すことなどが求められた。

- ① 「何ができるようにするか」（育成を目指す資質・能力）
- ② 「何を学ぶか」（教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成）
- ③ 「どのように学ぶか」（各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実）
- ④ 「子供一人一人の発達をどのように支援するか」（子供の発達を踏まえた指導）
- ⑤ 「何が身に付いたか」（学習評価の充実）
- ⑥ 「実施するために何か必要か」（学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策）

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』平成29年7月 2頁

というように、カリキュラム・マネジメントの実現を目指すことが求められています。

- ① 「何ができるようにするか」
- ② 「何を学ぶか」
- ③ 「どのように学ぶか」
- ④ 「子供一人一人の発達をどのように支援するか」
- ⑤ 「何が身に付いたか」
- ⑥ 「実施するために何が必要か」

以上のような改訂の内容を踏まえた「授業力」の自己診断と改善を行うため、今回改訂した「授業力」自己診断シートを活用してください。

【参考】前回の「授業力」自己診断シートを作成した際にマニュアルに掲載した引用です。

教育の専門家としての確かな力量

「教師は授業で勝負する」、この力量が「教育のプロ」のプロたる所以。

具体的には、子供の理解力、児童・生徒指導力、集団指導の力、学級づくりの力、学習指導・授業作りの力、教材解釈の力などからなるものと言える。

中教審答申H17.10.26『新しい時代の義務教育を創造する』19頁

〇これからの教員に求められる資質能力

- (ii) 専門職としての高度な知識・技能
- ・教科や教職に関する専門的知識
- ・新たな学びを展開できる実践的指導力
- ・教科指導、生徒指導、学級経営等を的確に実践できる力

中教審答申H24.8.28『教職生活の全体を通じた教育の資質能力の総合的な向上方策について』2頁

「授業力」自己診断シート

分類	具体項目例		合計		
	児童生徒に、笑顔で快活にあいさつをしたり話しかけたりしている。	児童生徒の意気や振る舞いに耳を傾けている。			
学習態度を養える力 学びに向かう学習態度を形成する力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	主体的・対話的に学びの発展に向かう 授業を担える力	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
授業を支援する力		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	学習評価の充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			

・「分類」の中から、どの項目を重点的に取り上げられるか、校内研修のテーマとしてもよいでしょう。

・各「分類」の項目についても必要に応じてそれぞれに適するよう選択をしてもよいでしょう。

・このまま使っていただくことも可能ですが、学校ごとのオリジナルシートを作成することもできます。

・『授業力』自己診断シートは校内研修（研究授業）に活用することができます。

・授業者がこの項目の中から授業を評価してもらおうと観点を選択しておき、研究協議を行うことも効果的です。

・『授業力』自己診断シートは管理職等の教室訪問（授業参観）に活用することができます。

・年度当初の「自己申告シート」の「教科指導」の目標設定内容（校長の設定した目標と連鎖しているもの）を授業参観時に参加者と授業者の共通の内容としていくことがポイントです。

『授業力』自己診断シートは、学校種、教科等の枠を超えて使用できるように作成したものです。

・各学校等で必要な修正を加えながら、御活用ください。

・また、教師一人一人が、自己の「授業力」を振り返り、見直すためのツールという意味でタイトルを「授業力」自己診断シート」としましたが、各学校において管理職による授業観察や教師相互の授業力向上を目的とした校内研修等でも是非とも御活用ください。

「授業力」自己診断シート

分類	具体項目例			
学びに向かう学習集団を形成する力 <small>学習環境を整える力及び</small>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 児童生徒に、笑顔で快活に挨拶をしたり話しかけたりしている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の意見や提案に耳を傾けている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒に学習活動に適した身なりを徹底させている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の着席状況を確認してから授業を始めている。 <input type="checkbox"/> 開始時刻と終了時刻を守って授業を行っている。 <input type="checkbox"/> 学習の準備を整えさせてから授業を始めている。 <input type="checkbox"/> 発言の仕方や話の聞き方などを、適宜教えている。 <input type="checkbox"/> 全員の聞く姿勢を整え、集中させてから、明瞭・簡潔で具体的な指示を出している。 <input type="checkbox"/> 教師自らも、教室での言葉遣いに配慮している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒一人一人が存在感と安心感を実感でき、互いに認め合う人間関係を構築させている。 <input type="checkbox"/> 校内環境美化に努め、学びに適した環境を整えている。 <input type="checkbox"/> 計画的・意図的に掲示物を配置している。 <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインに配慮し、全員が授業に参加できる安心安全な環境を整備している。 <input type="checkbox"/> 学習集団における児童生徒の人間関係を把握している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒と積極的かつ適切にコミュニケーションをとり、良い点を褒めている。 <input type="checkbox"/> 学習指導及び生徒指導上の配慮等を要する児童生徒を理解し、個に応じたきめ細かな指導をしている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の提出物や作品などに適切な評価のコメントを書き入れている。 <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の結果等も踏まえ、クラスやひとりひとりの学習状況を把握している。 <div style="float: right; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td style="padding: 5px;">合</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">5 3</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td style="padding: 5px;">1 8</td></tr> </table> </div>	合	5 3	1 8
合				
5 3				
1 8				
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け <small>授業を構想する力</small>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 研修等で得た教科等に関する専門的な知識を生かし、教材研究をしている。 <input type="checkbox"/> 学年会や教科部会などで教科指導に関する情報交換等を行い、授業に生かしている。 <input type="checkbox"/> 地域の人的・物的教育資源を積極的に授業で活用している。 <input type="checkbox"/> 単元全体を見通し、本時のねらいを設定している。 <input type="checkbox"/> 単元のねらいを達成するため、適切に教材研究を行い、指導内容を構成し、時間配分している。 <input type="checkbox"/> 学習のねらいの達成につながる発問を計画している。 <input type="checkbox"/> 単元全体の見通しや本時の学習のねらいを、児童生徒が理解できるように工夫している。 <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、効果的な学習形態を計画している。 (個別、ペア学習、グループ学習、協調学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、補充的な学習、発展的な学習等) <input type="checkbox"/> 知識及び技能の確実な習得のため、児童生徒の主体性を引き出すなどの工夫をしている。 <input type="checkbox"/> それぞれの教科の特性を生かし、それぞれの教科の見方・考え方を働かせる学習内容を工夫している。 <input type="checkbox"/> 学びを深めるため、児童生徒が考える場面と教師が教える場面を適切に組み立てている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒自身が問題の発見や解決をするような思考力・判断力・表現力の育成につながる、隣の児童生徒と話し合いをするような活動を取り入れている。 <input type="checkbox"/> 思いや考えを基に、意味や価値を創り出す活動を設定している。 <input type="checkbox"/> 児童の興味関心や主体性の育成のため、児童生徒が学習課題や学習活動を選択する機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 情報を活用する力の育成につながる調べ学習などの活動を授業に取り入れている。 <input type="checkbox"/> 育成を目指す資質・能力を明確にしながら、授業に教科横断的な視点を取り入れている。 <input type="checkbox"/> 学校図書館を、読書センター・学習センター・情報センターとして利活用している。 <div style="float: right; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td style="padding: 5px;">1 7</td></tr> </table> </div>	1 7		
1 7				
授業を実践する力	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 声の大きさや話す速さを適切にし、分かりやすい説明をしている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の反応や変容に気付き、質問や意見を取り上げ、授業展開の中に生かしている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の活動場面を確保し、主体的に学習に取り組むことで達成感を得られるよう配慮している。 <input type="checkbox"/> 自力解決の場面やつぶやきなどから、つまづきを早期に発見し、児童生徒一人一人に適切な指導を行っている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒に必要な感のある話し合いの場面を設定している。 <input type="checkbox"/> 課題や問いについて考えさせる時間やノートにまとめさせる時間を確保している。 <input type="checkbox"/> ICT機器を学習で効果的に活用している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の多様な考えを引き出す等、思考を深める発問をしている。 <input type="checkbox"/> 発問に対して児童生徒が思考する時間を適切に確保している。 <input type="checkbox"/> 板書の内容は、学習の流れや思考の流れが分かりやすくまとめられている。 <input type="checkbox"/> 漢字の筆順や文字の大きさに気を付けて、丁寧な文字で板書している。(ユニバーサルデザインの視点を含む) <input type="checkbox"/> 本時のねらいと正対するまとめをしている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が本時に学んだ内容を理解し、次の課題につながるような学習の振り返りをさせている。 <div style="float: right; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td style="padding: 5px;">1 3</td></tr> </table> </div>	1 3		
1 3				
学習評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 児童生徒の学習内容について、評価の観点に照らして評価を行っている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒のよい点や可能性、進歩の状況について個人内評価を行っている。 <input type="checkbox"/> 学習意欲の向上のため、授業内で児童生徒が相互評価や自己評価を行うように工夫している。 <input type="checkbox"/> 学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、事前に教師同士で検討するなどして明確化している。 <input type="checkbox"/> 学習評価等を活用し、指導計画が適切であったかを適宜振り返り、授業を改善している。 <div style="float: right; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td style="padding: 5px;">5</td></tr> </table> </div>	5		
5				

※ 各学校でチェック項目を選択するなど、各学校の状況に合うように変更してご使用ください。チェックボックスの数字も変更してご使用ください。